

# 技術士 2 次試験に合格して



**伊藤 直也**

(いとう なおや)

## 勤務先

株式会社 北建コンサルタント

技術部

〒077-0027 留萌市住之江町 1 丁目 52 番地  
TEL 0164-43-0952 FAX 0164-43-8974  
E-mail itou@hokken-c.com

■ 専門：建設部門(道路)

## 1. 自己紹介

私は 1977 年(昭和 52 年)に、現在も在住している留萌市で土建屋の家庭に生まれました。そのため、小学生でユンボ(バックホウ)のバケツ交換、中学生で起工測量と、土木の英才教育を受け地元の工業高校を卒業し、北海道工業大学(現 北海道科学大学)へ進学と、すんなりと土木の世界に入り、卒業後は 1 年間の高校教員の経験を経て、現在の会社に勤め 18 年となりました。

現在の会社では、道路設計を主戦としながらも、交通調査・分析や各種点検業務の他、地域コンサルタントとして認可資料作成など様々な案件に携わらせていただいております。

## 2. 受験動機

入社当初は“技術士”という名前すら知らず、仕事を行っていくにつれて技術士を認知していきました。その中でも技術士の必要性や重要性に惹かれ目指すことになりました。主には…

### (1) 業務を行う上で

やはり業務を行っていく上で、技術士は非常に大きな役割を担える資格であると同時に、技術力を示す上でも必要だと痛感しました。また、お客さんの安心材料の一つであると考えました。

### (2) 会社を維持していく上で

当社には技術士は 1 名しかいませんでした。

建設コンサルタントを継続経営するには技術士は必須です、次世代の技術士が必要であると考え技術士を目指しました。

### (3) 目指せるのであれば…

世間では非常にマイナーですが、日本 5 大国家資格の 1 つであるといわれます。そのような資格を目指す環境はなかなかないのではないかと考え、目指してみようと思いました。ただ、道のりは平坦

ではありませんでした…。

## 3. 2 次試験について

約 10 年前に 1 次試験合格後、実際にはなかなか重い腰が上がらず、とりあえず受験するということをし繰り返していました。今回は“択一最後の年”ということもあり、一念発起することとしました。

先輩技術士である当社社長の勧めもあり、技術士リングネット講座へ通いました。また、受験に関する情報は、大学の友人や周囲の技術士の方々から情報を頂き、臨みました。

勉強方法としては論文作成の他、一番力を入れたのは、想定問題や時事課題について、国土交通省等の HP や専門雑誌・新聞から、多くの情報を得て理解し、詰め込むことでした。

筆記試験で一番注意したことは、採点者に論文をしっかりと読んでもらうため“丁寧な字で論文を書く”ことでした。私は書道家(伊藤 寒岳)として活動していることもあり、日本一読みやすい論文を書けたと、そこだけは自負しております。

口頭試験では、願書について“多くのツッコミ”を入れて頂き、解答を作成し 4 年生の娘に出題を繰り返してもらい、技術士リングネットで模擬面接を行ってもらいました。そのためか、ほぼ会話のような面接を 15 分程度で終えることが出来ました。

## 4. 終わりに

技術士合格後は発注者の方、同業者の方、友人など、たくさんの方から祝福をしていただきました。

合格をスタートと捉え、日々研鑽に励み、地域に頼られる技術士を目指します。また、技術士の認知向上や地位向上に努めてまいりたいと思います。

最後に、合格に向けて応援いただきました方々や、お世話になった方々に改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。